

庄内町立図書館だより

# よめっちゃん

(本をたくさん

「読んでね」との願いを込めて)

2016.10.26(No.18)



図書館カレンダー

★開館時間

平日 午前9:00～午後6:00

⇒休館日 土日 午前9:00～午後5:00

## 狩川公民館に図書室があるのをご存じでしたか？

絵本、児童向けの本がある「カンガルー文庫」は床をふっかふかのカーペットに貼りかえ、みなさまのご利用をお待ちしています！

大人向けの本がある「読書の部屋」には、本館とはまた違った本がありますよ。ドライブがてら立ち寄られてはいかがですか？なお本館⇄分館相互に貸出もできます。

～分館のおすすめ新刊～  
のんで東北たべて東北  
杏耶/著（イースト・プレス）  
どんぐりころちゃん  
正高もとこ/著（鈴木出版）



11月



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

11月～平日は6時閉館ですのお間違いなく！

12月



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

おはなしらんどポップコーンのおはなし会

11/16(水) 10時～ 図書館ホール どんなおはなしが聞けるかな？  
12/21(水) 10時～ 余目第一公民館

## 大活躍！分館応援団

分館をより使いやすく、魅力的にするボランティア活動をしてくださっているのが分館応援団の皆さんです。カンガルー文庫の本棚の移設にメンバー総出でご協力いただきました。

分館内には応援団によるフォトフレームなどの作品や、おすすめ本のポップもあります♪探してみてくださいね。活動の様子→



## 分館職員のおすすめ本

『別冊ランドネ 親子でキャンプ!』(樫出版社)

自然の中で親子キャンプしてみたい方向けに、用具から楽しみ方までを網羅した本です！こんなキャンプをしたら思い出に残るだろうな～。来年の夏の予習にもおすすめ。

『ちいさなねこ』 石井桃子/さく,横内襄/え  
(福音館書店)

危ない目にあいながらも頑張るこねこと、堂々としたおかあさんねこの対照的な様子が印象にのこります。読み聞かせにどうぞ。



## 図書館見学に来てくれました！



立川小学校2年生のみなさんです。カンガルー文庫での質問タイムは、みんな真剣に聞いていましたね。早速カードを作ってくれた子も！たくさん利用してくださいね♪

余目第三小学校2年生のみなさんです。大きな声でたくさん質問したり、本を借りてくれました。これからも図書館を利用してくださいね！さっそくお礼のお手紙をいただきました。子どもどくしょ室に展示中です。

お問い合わせ 図書館・内藤秀因水彩画記念館

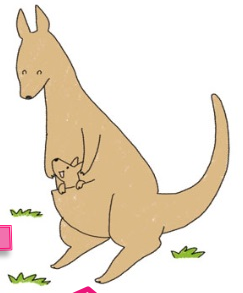
43-3039

分館 56-3308

図書館 HP→<http://www.town.shonai.lg.jp/library/>

# 職員のおすすめ本

## 分館のカンガルー文庫床リニューアル記念！



# 親子

カンガルーと言えばお腹の袋、袋と言えば、お袋さん、お袋さんと言えば、母と子、で親子がテーマだよ

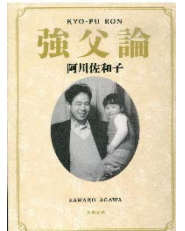
### 『江戸しぐさに学ぶ子どもの「作法(マナー)」』 越川 禮子/著、日本ホスピタリティ推進協会/著 (PHP 研究所)

超過密都市だった江戸。住民たちは、どうすれば人と争わず、快適に過ごせるかを念頭に置いて行動していました。人にぶつかったらすぐに謝る「うかつ謝り」や、相手を待たせる「時泥棒」をしないなど、その知恵は今の社会に通じるものもたくさんあります。大事なものは皆を敬う気持ち…自分だけよければいいと考えがちな昨今、大人も子供も江戸しぐさを見直してはいかがでしょうか。1度に全部やろうとせず、出来そうな事を1つやってみるところから始めましょう！



### 『強父論』阿川 佐和子/著 (文藝春秋)

佐和子節、ここに降臨！抱腹絶倒!! 呵呵大笑。昨年8月に94歳で逝去した大作家である父、阿川弘之氏の、短気でわがまま、そして人間味あふれる家庭人としての素顔を見事に描き出したエッセー。妻子に対して絶対服従を求めるその言動に、娘ならずも呆れ果て、そして思わず噴き出してしまふ。



それは…佐和子氏の、逆襲とも言えるべき筆使いの奥底に、父親への愛が見え隠れするから。「暴君」だったかもしれないが、誉れ高き文豪は、やはり偉大な父なのである。

いやはや、久しぶりに大声出して笑いました！秋の夜長、笑顔になれる1冊です。

### 『親子のための地震イツモノート キモチの防災マニュアル』地震イツモプロジェクト/編 (ポプラ社)

「大地震はいつ起きてもおかしくない」という認識は、今や当たり前のものとなりました。では、大きな地震が来たとき、何ができなくなり、どんなものを、どのくらい備えていたら安心なのか？この本にはそんな疑問に対する答えが、阪神・淡路大震災を経験した方々のお話に基づいてまとめられています。コンパクトかつイラスト満載なので、誰でも気軽に手に取ることができます。



「イツモ」の延長にある、あなたのちょっとした備えて、いざというときに大切な人の体と心を守ることができるかもしれません。ぜひご家族でお読みいただきたい1冊です。



### 『親子で楽しむ手形アート』 やまざき さちえ/著(日本文芸社)



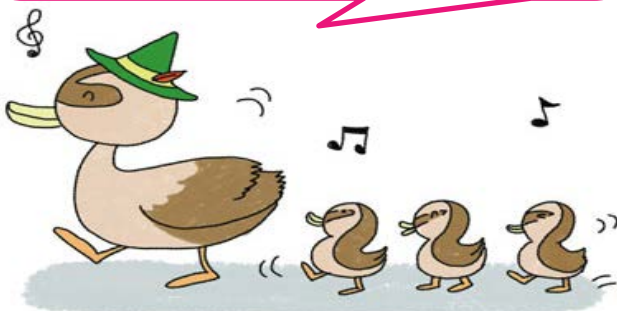
手や足にスタンプインクや絵具を付けてペタッ。そこに顔のパーツを書きマスキングテープで飾りつけると、手軽でかわいい作品に！

お父さんのおつきい手の隣りに赤ちゃんのちっちゃい手…家族でペタペタ。子どもの成長の記録にしたり、おじいちゃん・おばあちゃんに贈ったり、これからの時期はクリスマスカードや年賀状のイラストに使うのもいいですね。

動物や季節の行事のモチーフそれぞれの工程が詳しく紹介されているので初めてでも簡単にチャレンジできそう。寒くて外に出れない日にも親子で楽しく遊べそうです♪



親子の形って人それぞれかと思いますが、出来るなら、笑って過ごす時間が多ければ良いですね。子を思いやる心、親を思いやる心を大切にしたいものです。こちらで紹介した本はすべて当館にございます。予約もできますのでカウンターまでお問合せください♪



### 『チッチと子』石田 衣良/著 (毎日新聞社)

読み終わったら、心の中がじんわりほんわり、あったかくなり、じわっと涙が滲んでしまいました。



小説家の父と小学生の息子との二人暮らしの話なのですが、この子が実にいい味だしてます。大人顔負けの言葉で父親を励ましたり、まだまだ子供だなんて思える

仕草があったりするのですが、二人が成長していく姿は微笑ましいものがあります。おまけ…チッチの作るご飯はとっても美味しそうです。見習わなければ。

